

科目	運動学演習	担当	富山 直輝	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本科目では、臨床体表解剖学、や解剖学・生理学、運動学Ⅰ・Ⅱを基礎に、筋の作用やバランス機能、歩行の分析、人体の体表解剖による運動の理解によって人体を運動学的に考察する。到達目標は、1) 実験を通して筋の働き、バランス機能、歩行の指標について理解し説明できるようになる、2) 機器の操作方法と運動の客観的評価方法について理解し説明できるようになる、3) 人体の運動を筋と結びつけて理解し説明できるようになることである。

【履修注意】

- ・集中して安全に実施するために身だしなみを整えて授業に臨むこと(爪を切る、長い髪は束ねるなど)
 - ・骨や筋の触診を行うため、体表解剖時には実習可能な服を着用する。
- なお、予定を変更することがある。

【評価方法】

レポート 3割、発表3割、小テスト2割、実技試験2割で総合して評価する。

【試験について】

- ・期末試験は実施しない。
- ・再試験対象者の条件：総合評価が6割未満

【予習・復習】

- ・本科目は1単位科目であるため、講義以外に45分の自主学習が必要となる(文部科学省指針)。
- ・解剖学、臨床体表解剖学、運動学Ⅰ・Ⅱの関連科目を予習・復習(45分程度)しておくこと。
- ・体表解剖では、小テストによる知識の確認を行うため、復習を行うこと。

【教科書】

体表解剖の資料については、事前に配布する。動作分析では、必要な資料を配布する。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	動作分析1	レポート作成方法、機器使用方法
2	動作分析2	二関節筋、足関節、膝関節
3	動作分析3	二関節筋、足関節、膝関節
4	動作分析4	肩関節外転、肩甲骨上方回旋、肩甲上腕リズム
5	動作分析5	肩関節外転、肩甲骨上方回旋、肩甲上腕リズム
6	動作分析6	肘関節、屈曲角度、屈曲トルク
7	動作分析7	肘関節、屈曲角度、屈曲トルク
8	動作分析8	歩行、パラメーター、重心動揺
9	動作分析9	歩行、パラメーター、重心動揺
10	動作分析10	グループ発表
11	筋の体表解剖1	肩関節、肘関節、触知法
12	筋の体表解剖2	肘関節、前腕、触知法
13	筋の体表解剖3	前腕、手関節、触知法
14	筋の体表解剖4	手指、触知法
15	筋の体表解剖5	股関節、膝関節、足関節、触知法
16	実技試験	